

第3章 八王子の環境の現状と取り組み

第1節 水環境の保全 — 清らかな流れを求めて —

1. 水環境の現状

八王子は高尾山や陣馬山などの山々を源流とした数多くの河川や湧水がある環境に恵まれたまちです。水辺は市民に潤いと安らぎを与えてくれる貴重な財産です。

この貴重な水辺に生活排水が流れ込み市内の水環境が悪化したことから、市では下水道整備と生活排水対策を進めてきました。

その結果、20年度に測定河川8河川すべてにおいてBOD（生物化学的酸素要求量）（注1）の環境基準（注2）を達成することができました。

そして、更なる水質の向上を目指し23年8月までを下水道接続促進強化期間とし、接続促進活動を行っています。

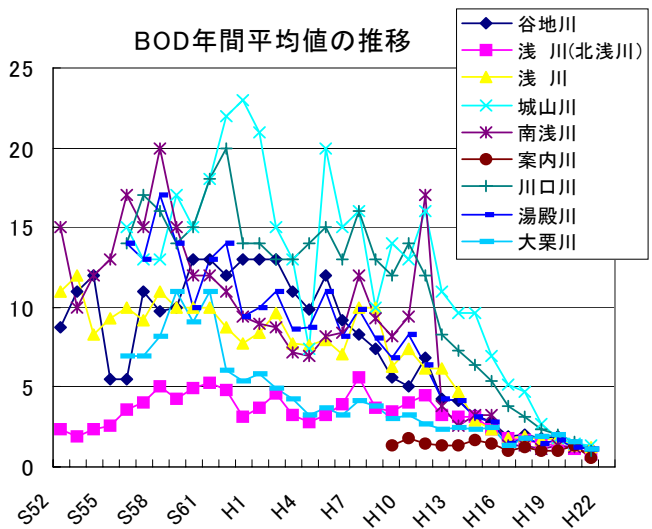
また、地下水のかん養や湧水の保全、そして河川水量の確保を目的として始めた雨水浸透施設の設置補助事業も、21年10月に補助率を5割から9割に引き上げたことから雨水浸透施設の設置件数は増加しています。

豊かでよりきれいな水の流れを目指し、水環境の整備に取り組んでいきます。

市内河川 BOD75%水質値（注3）（単位：mg/l）

河川名	測定地点	75%水質値	基準達成
谷地川	下田橋下	1.5	○
浅川	中央道北浅川橋	0.8	○
	長沼橋下	1.6	
城山川	五反田橋	1.3	○
南浅川	横川橋	1.0	○
案内川	御室橋	0.9	○
川口川	川口川橋	1.2	○
湯殿川	春日橋	1.2	○
大栗川	東中野橋	1.5	○

○：基準達成、×：基準未達成



※注1 BOD：有機物による河川の汚染度を示すもので、数字が大きいほど汚れが著しい。

※注2 環境基準：人の健康を保持し、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい目標。

※注3 BOD75%水質値：BODの環境基準の達成状況を見るもので、n個の日間平均値を数値の小さいものから並べたとき0.75×n番目にくる数値。

2. 水環境の取り組み

(1) 水質改善

河川の水質をより良好にするため、下水道への接続促進や浄化槽整備区域の浄化槽の設置促進を含めた生活排水対策に取り組むとともに、工場や事業場等の排水指導を行っています。

ア. 生活排水対策の推進

(ア) 下水道への接続促進等

下水道への未接続家屋に対して戸別訪問を行い、接続促進活動を行っていますが、22年度は平日の留守世帯などに対して休日訪問を実施し、現状の把握と接続のPRを行いました。21年10月から下水道接続支援策を拡充したことにより、86件の補助、40件の利子補給を行い、接続率は92.2%となりました。

また、公共下水道整備地区以外の市街化調整区域では、戸別浄化槽の設置促進活動を行い13基を設置し、合併浄化槽の引き取りと併せ合計で321基の合併浄化槽を市管理としました。

北野処理区の一部は、雨水・汚水を共に処理する合流式下水道となっていることから、多量の雨が降った場合には未処理水が河川に流出してしまいます。そこで、雨水吐口2ヶ所、北野下水処理場2ヶ所で河川放流水の水質検査を実施した結果、すべての検査降雨で基準値を下回っていることを確認しました。

(イ) 家庭から排出される汚れの削減

市は、「八王子市生活排水対策推進計画」に基づいた市民組織として「八王子に清流を取り戻す市民の会」を設置しています。

22年度は谷地川上流域を「生活排水対策モデル地区」とし、チラシの回覧と啓発品の配付を行いました。

また、環境フェスティバルや地域イベント、小学校での環境学習などを通して、啓発活動を行いました。



環境フェスティバルでの啓発活動

イ. 工場・事業場への対応

市は水質汚濁防止法や都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）に基づく届出の事前審査や指導を行い、水質汚濁の未然防止に努めています。また、工場および事業場への立入検査を実施し、届出の内容、排水処理施設の状況、排水基準の遵守状況を確認しています。

水質検査を伴う立入調査結果（22年度）

立入 事業場数	水質検査 回数	行政措置	
48	15	行政指導	2件
		改善命令	0件
		排水の一時停止命令	0件

(2) 水循環の回復

地下水のかん養を図り河川流量を確保するため、雨水浸透施設等の設置を進め、健全な水循環を回復する取り組みを進めています。

ア. 公共事業における雨水貯留・雨水浸透対策

道路事業では、雨水排水施設を整備するにあたり、地盤の保水機能を確保できる雨水浸透舗装を実施しています。22年度はとちの木通りや市役所通りなど6ヶ所で、計2,121㎡について実施しました。

また、駒木野公園など3公園と第六小学校や第五中学校など7校に、浸透ますおよび浸透トレンチを設置し、第六小学校では浸透舗装74㎡を合わせて行いました。



透水性舗装の歩道（とちの木通り）

項目 \ 年度	H20	H21	H22
浸透性舗装面積（㎡）	2,483	3,072	2,195
浸透トレンチ（m）注4	141	153	589
浸透ます（箇所数）	12	14	91
浸透人孔（基）注5	4	5	0

（注4）浸透トレンチ：雨水浸透ます等と連結した浸透性の管。雨水を導き、側面および底面から地中へ浸透させる施設。

（注5）浸透人孔：浸透性のあるマンホール

イ. 雨水浸透施設等設置補助事業

健全な水循環に向けて、建物の屋根に降った雨水を地中に浸透させやすくする雨水浸透ますと浸透トレンチの設置や、雨水を植木や庭への散水に有効利用できる雨水貯留槽の設置に補助をしています。

21年10月から雨水浸透施設の設置に対する補助額を5割から9割に引き上げた以降設置基数は大幅に増加しています。

項目 \ 年度		H20	H21	H22
雨水浸透施設	浸透ます（基数）	188	293	334
	浸透トレンチ（m）	24.6	15.5	26.0
雨水貯留槽（設置基数）		66	82	111

ウ. 地域と連携した湧水復活事業

横川弁天池周辺を雨水浸透施設設置強化地区に指定し、湧水のかん養に取り組みました。

その結果、16軒の協力により48基の雨水浸透ますを設置し、4年間で91基となりました。

また、身近な水辺を復活し、地域の魅力を高める取り組みとして「身近な水辺の復活10年プロジェクト」を開始しました。22年度は、六本杉公園湧水協議会を設立し、八王子駅南口周辺水のまちプロジェクトを推進しました。



六本杉公園（子安町二丁目）

3. 評価

環境基本計画に掲げた5つの重点取り組み（水、みどり、ごみ・資源、地球温暖化、教育・学習）では、分野ごとに毎年度目標を立て、事業を進めています。その目標に対する達成度や貢献度の評価結果を3段階の★印で示すとともに、市内部での総括評価および環境推進会議での相互評価を行っています。ここでは、「水」の分野についての評価結果を掲載します。

3段階の★印の評価

- ★ 今後、努力が必要
- ★★ ほぼ目標を達成した
- ★★★ 大きな成果をあげた

評価：★★ ほぼ目標を達成した

<市内部での総括評価>

水辺環境の保全に関する施策については、概ね目標が達成できており、特に、歩道の透水性舗装や雨水浸透ます等の雨水浸透施設の設置では、大きな成果を上げられたことは評価できる。しかし、生活排水対策の推進等の施策では、下水道接続促進や無届浄化槽の指導徹底などについてPR活動を行ったものの、啓発が行き届かず目標達成には至らなかったことから、来年度も積極的に取り組んで行くこと。

<環境推進会議での相互評価>

水の分野は着実に推進されていると評価する。

公共下水道への接続指導について、河川に生活排水が流入している地域があることから、接続率100%の目標を達成できるよう積極的に展開すること。

多自然川づくりへの取り組みについて、「市民との協働による水辺づくり」や「河川管理者との連携づくり」が目標に挙げられているが、市に情報が届いていないなど、実際の工事においては必ずしも連携できていない場合がある。市は河川管理者へ積極的に働きかけて連携し、市民協働の水辺づくりを進めること。